

## 後期高齢者医療特別会計

### 1 制度の運営

後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者等を対象とした制度で、制度の運営は都道府県ごとに設置され、県内の全市町村で構成される岩手県後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、市町村と事務を分担しながら制度の運営を行っている。

### 2 制度の財政

制度の財源構成は、医療費の患者負担分を除き、約5割は公費により負担される。また、約4割は国民健康保険や被用者保険など現役世代からの支援金のほか、約1割は被保険者から納めていただく保険料で運営している。高齢者が安心して医療を受けられる仕組みを、世代を超えて支えている。

### 3 被保険者数

後期高齢者医療制度の被保険者は、遠野市に住所を有している75歳以上の人である。また、65歳から74歳で一定の障害のある人は、本人が希望し認定を受けると被保険者となることができる。

遠野市における平成26年度の被保険者数は、本制度が施行された平成20年度の5,675人から512人増加し6,187人となっている。

表1)被保険者(受給者)数の推移

(単位:人)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
被保険者(受給者)数	5,929	6,035	6,147	6,190	6,187
被保険者の内、障がい認定を受けた者(65~74歳)	168	140	132	138	104

(被保険者数は年度内の各月末人数の平均により算出)

### 4 保険料

本制度では、後期高齢者医療に要する費用に充てるため、被保険者に個人単位で保険料を賦課し徴収する。保険料を決める保険料率等の基準は広域連合ごとに2年を単位に設定され、岩手県後期高齢者医療広域連合では平成20年度の制度開始以降、保険料率を据え置いてきたところであるが、現行の保険料率で算定した場合、医療給付費や被保険者数の増に伴い財源不足が生じる結果となったため、平成26、27年度の保険料について均等割額は2,200円増の38,000円、所得割率は6.62%から7.36%に引き上げることとした。

保険料は均等割額と所得割額の合計金額で算出され、所得の低い人ほど負担が軽減されるように配慮されており、減額した保険料は、市町村と都道府県による公費で補填される。

保険料の徴収方法は原則年金からの天引き(特別徴収)であるが、被保険者の希望により市町村が徴収する普通徴収を選択できる。遠野市の平成26年度の保険料賦課総額は、前年度比6,894,000円増の189,629,000円となった。また、保険料の収納対策については、被保険者間の保険料負担の公平性を図り、支援金等を負担している若年世代の理解を得る観点からも引続き収納率の向上に努める。

表2)平成26年度分保険料の賦課、収納状況

区 分	年度末賦課確定額	収納済額	収納率(%)
現年度分	189,629,000円	188,691,400円	99.51
特別徴収	139,667,900円	139,681,500円	100.01
普通徴収	49,961,100円	49,009,900円	98.10
滞納繰越分	959,600円	704,500円	73.42
合 計	190,588,600円	189,395,900円	99.37

(還付未済額 13,600円含む)

(還付未済額 1,000円含む)

表3)平成26年度決算状況

事項 款別	歳 入	
	決算額(円)	構成比
1 後期高齢者保険料	189,395,900	60.89
2 使用料及び手数料	51,000	0.01
3 寄附金	0	0
4 繰入金	120,510,786	38.74
5 繰越金	767,450	0.25
6 諸収入	335,200	0.11
合 計	311,060,336	100.00

事項 款別	歳 出	
	決算額(円)	構成比
1 総務費	15,148,416	4.88
2 広域連合納付金	295,209,172	95.04
3 諸支出金	246,400	0.08
4 予備費	0	0
合 計	310,603,988	100.00

(歳入) 311,060,336 円 - (歳出) 310,603,988 円 = 456,348 円 は平成27年度に繰越

## 5 医療の動向

後期高齢者医療制度では、医療費の1割または3割を被保険者が負担し、残りの9割または7割は、被保険者の保険料、国民健康保険や被用者保険など現役世代からの支援金を財源としている。

遠野市後期高齢者に係る平成26年度の総医療費は4,004,274千円で、前年度の総医療費と比べると134,845千円、3.26%減少している。

また、平成26年度の1人当たりの給付費は、575,919円で、前年度比で3.12%減少している。

疾病分類別件数で見ると高血圧性疾患の件数が突出して多くなっているほか眼及び付属器の疾患、糖尿病などの件数が多くなっている。

表4)医療給付費の状況

年 度	対象者数 (人)	件数 (件)	総医療費(円)	給付費(円)	1人当たり 給付費(円)	1件当たり 給付費(円)
平成20年度	5,675	132,679	3,718,040,546	3,380,397,663	595,665	25,478
平成21年度	5,806	135,868	3,672,586,770	3,331,438,962	573,792	24,520
平成22年度	5,929	130,964	3,893,589,121	3,537,947,139	596,719	27,015
平成23年度	6,035	132,049	4,004,674,742	3,559,334,938	589,782	26,955
平成24年度	6,147	139,813	4,123,224,577	3,668,406,794	596,780	26,238
平成25年度	6,190	144,552	4,139,119,299	3,679,624,409	594,447	25,455
平成26年度	6,187	146,329	4,004,274,599	3,563,211,517	575,919	24,351
前年対比	99.95%	101.23%	96.74%	96.84%	96.88%	95.66%

※資料：後期高齢者医療診療報酬等請求内訳書（平成26年4月から平成27年3月診療分）